

発行責任者
隠岐広域連立立
隠岐病院長
西郷町城北町355



皆様の身近な方、お知り合いの方で隠岐病院で働きたいという方をご存じの方

看護婦さん 募集しています

——より良い「患者さま中心の看護のために」——



看護局 総婦長
吉田力ネ子

皆様こんにちは。四月から総婦長をさせていただいております吉田です。どうぞよろしくお願いいたします。

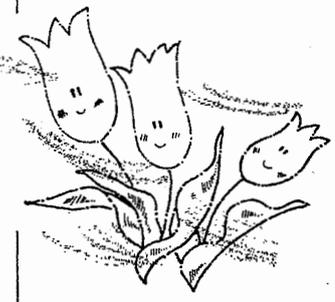
私は団塊の世代で、隠岐病院へは昭和五十一年十一月に、ちょうど今の病院へ引っ越しする時に入職しました。現在の病院は、二十五年が経過し、老朽化がひどく、絶えずどこかを修理していますが、私もかなり老朽化(?)が目立ってきています。しかし気持ちだけは老朽化しないようにと心がけております。

者さまへの接遇・病院の改築問題・新人教育などいろいろな問題を抱えながら悪戦苦闘しております。中でも看護婦不足は大変深刻です。今年度は新卒三人を含め六人の採用がありました。看護婦不足は解消しておりません。この現状をなんとか打開しようと、病院長をはじめ、関係者で県内や大阪の看護学校訪問、就職説明会への参加、看護学生を対象にした夏休みの病院見学会の計画、中高生の看護体験の受入れなど看護婦確保のため全力で取り組んでおります。

七月に入って中学生十名が参加した、二日間の「職場体験」に始まり、二十三日からは高校生二十九名、中学生二名が参加した「一日看護体験」もありました。国際看護協会により、ナイチンゲールの誕生日を看護の日と制定し、各地でいろいろな取組みが行われていますが、一日看護体験も看護の日の取組みの一環です。一日四、五人が二つのグループに別れ、担当看護婦と共に患者さまの足を洗ったり、爪を切ったり、ひげを剃ったりなど身の回りのお世話をすることを通して、看護婦の仕事の一部を体験し、看護について考えてもらおうという取り組みで、体験後の感想文では、患者さまから「ありがとう」と言われたことがとても嬉しかった、看護婦はとてもやりがいのある職業だ、赤ちゃんをだっこしてとても感激し、看護婦になりたい気持ちが強くなった。など感想を書いてくれています。私達に取っては願ってもない成果で、看護体験を通して一人でも多くの後輩が育ってくれることを願っております。



次に私が深刻に受け止めている問題は、患者さまへの接遇の問題です。患者さま中心の看護がいわれて久しいですが、まだまだ「患者さま中心」とはいえない現状です。患者さまとの応対時、不適切な発言や思いやりに欠く態度で、患者さまやご家族の方にご迷惑をおかけすることがときどきあります。私たちは初心に返り、看護婦の条件であるやさしさ・思いやり・親切について看護部全体で考えて行きたいと思っております。皆様に満足して頂ける看護を常に目指して行きたいと考えております。新米総婦長でいろいろご迷惑をおかけすることがあると思いますが、先輩に少しでも近づけるよう努力いたしますので、どうか皆様のご支援をお願いいたします。看護部へのご希望ご意見がございましたら、吉田までお願いいたします。



平成14年度 医療技術修学生募集

隠岐広域連合では、平成14年度においても、医療技術諸学校に在学されている方または進学される予定の方を対象に、下記のとおり修学生を募集します。(隠岐島前病院への勤務希望者募集も始まりました)

- 一、趣旨
将来、隠岐病院に医療技術職員として勤務しようとする者に対して、修学資金を貸与することによって、隠岐病院に勤務する医療技術職員の確保を図ることを目的とするものです。
- 二、平成十四年度の募集職種
看護婦(士)
- 三、修学資金の額
月額 五万円
- 四、貸与期間
平成十四年四月から当該医療技術諸学校の正規の修学年限を終了する月までです。
- 五、修学資金の返還
修学資金の返還は、月賦による均等返還または、一括返還をしていただきます。
- 六、修学資金の返還の免除
被貸与者が、免許取得後、隠岐病院において勤務し、修学資金の貸与を受けた期間の二倍に相当する期間以上勤務した場合は、修学資金の返還が免除されます。
- 七、修学生の決定
審査は、書類および面接で行ないます。
問い合わせ・申請については、隠岐広域連合事務局総務医療課(二一九六八)まで

リハビリテーションセンター 「室」の患者様へ

本年度二月より、リハビリテーション室は島根県より「地域リハビリテーション支援センター」としての要請を受けました。
現在の主な活動は、隠岐圏域にある介護・福祉施設等の職員一、二名程度を対象とした研修を毎週木曜日の午後、治療場面の見学、関節の動かし方などの基本的な訓練の実践研修などを行っています。また月に一度、隠岐島前病院へリハビリスタッフ一名を派遣し島前の方のリハビリを行っています。
地域リハビリテーション支援センターとしての要望には、●関係職員への研修会の開催●訪問看護・ヘルパーへの個別指導●訪問リハビリの実施●住宅改修のポイント指導●地域リハビリテーション概念の普及●理学療法士・作業療法士のマンパワーを確保し隠岐島前病院に派遣●福祉用具の展示や使用法の説明など、以上のようなものが挙がっています。
少しずつではありますが、隠岐のリハビリテーションの発展に貢献できるよう頑張りたいと考えています。
また、研修を行うにあたり、患者様、ご家族の方にはご迷惑をお掛けする事があると思っておりますがご理解のほどよろしく願います。

入院患者様の病状などの 問い合わせについて

お電話による入院患者様の問い合わせ(病状についてや入院しているのかどうか?、何号室に入院しているのか?)などについては、プライバシー保護のため返答できないことになっておりますのでご了承いただきますようお願い申し上げます。

皮膚科の診療時間について

(11月から4月の診察時間)

12:30~14:30まで
受付時間(8:00~11:00)

—ご注意—

申し訳ありませんが、患者様が多くなりますと受付を止めさせていただくことがありますのでご了承ください。

○お知らせ○

一日消防所長を

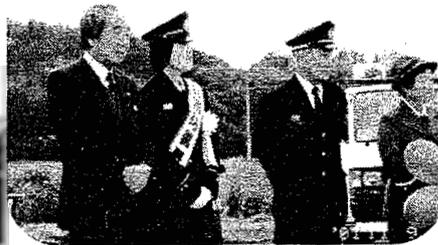
勤めました

十一月九日より全国一斉に秋季全国火災予防運動が展開されました。隠岐島消防本部においても、地域住民への防火意識の高揚を目的とした行事に一日消防署長として参加いたしました。

当日は朝礼に始まり、消防署内通常点検、日常業務の説明を受けました。サンテラス駐車場において行われた防火パレード出発式では、下西と双葉保育所園児によるかわいい踊り・楽器の演奏のあと町内へのパレードに出発しました。午後はともいきの郷へ査察に出かけました。ともいきの郷では防火、避難・誘導に対する意識が高く、消防学校での研修や、年四〜五回の防火訓練を行うなど火災予防に熱心に取り組んでおられました。

一日消防署長 吉田カネ子

当日のスナップ



—子供達と一緒に・・・



病院救急車が新しくなりました！！

本年九月、約十三年間使用しておりました救急車を更新いたしました。当院の救急車は、普段緊急使用する消防署の救急車と外観は同じですが、用途はいろいろあります。

- 島外の医療機関への転院や、防災ヘリコプター等による緊急搬送時の隠岐空港までの搬送
- 受診される寝たきりの患者様の送迎および退院時の送迎

○お亡くなりになった患者様を自宅までお送りする…。などの業務を行っております。

今回更新した救急車は以前よりも患者様のスペースが広く、また、寝台についてはエアによる防振ベッドとなっており搬送中の地面からのショックも吸収するような構造となっております。

この場をお借りいたしまして皆様方へお願いですが、サイレンを鳴らして走行中の救急車が近づきましたら道を譲っていただきますようよろしくお願いいたします。



新しくなった病院車



年末年始の診療ご案内



平成13年12月29日(土)から

平成14年1月3日(水)まで年末年始の診療体制となります。

1月4日(木)より平常診療です。

年末年始の診療体制のご案内

- ①受診される時は当院(2-1356)へ電話してからお越しくださいますようお願いいたします。
(患者様のご氏名・ご住所・診察券の番号、どんな症状なのかお伝え下さい)
- ②保険証と診察券のある方は持参して、夜間救急患者出入口よりお入り下さい。
(午後9:00以降は施錠しておりますのでインターホンでお知らせ下さい。)
- ③診察は救急外来で行います。看護婦が呼びするまでしばらくお待ち下さい。
(患者様が多い場合は、お待ちいただくことがあると思いますがご了承ください)



* 田坂 勝 (小児科医長)
 * 滝下 清華 (臨時事務員)
 * 山口 敏江 (臨時看護助手)
 * 栗岡 秀行 (整形外科部長)
 * 安部 保子 (臨時准看護婦)
 * 荒田 理恵子 (臨時看護助手)
 * 小野 晴美 (臨時事務員)
 * 脇 富子 (臨時事務員)

退職 (十一月まで)

* 葛西 武司 (小児科医長)
 * 真野 さくら (臨時事務員)
 * 大饗 和憲 (整形外科医長)
 * 藤野 弘美 (臨時看護助手)
 * 藤田 栄子 (臨時看護助手)
 * 八幡 三枝子 (パート准看護婦)
 * 森 真由子 (臨時事務員)
 * 葛西 聡美 (パート看護婦)

採用 (十二月まで)

異動

あしがき

二十一世紀最初の年となった二〇〇一年も、残すところあと僅かとなりました。▼諸般の事情により、長らく発刊しておりませんでした「広報誌まめなかの」を、ようやく再発刊する運びとなりました。その間、皆様方より「まめなかのはどうしたの？」等のお言葉をいただき、島民の皆様方の期待の大きさを改めて感じた次第です。▼今年一年のできごとを振り返ってみますと、幼児虐待の度重なる報道に始まり、驚愕の同時多発テロとそれに続く報復の泥沼化。等なにかと暗い話題が多かったように思います。ただ、先日の敬宮愛子様のご誕生は心なごむ一報でした。▼間もなく年末恒例の清水寺での今年を表す漢字の一字が発表されます。どのように表されるのか楽しみであると同時に、これでも今年も終わるのかという思いです。▼さて来年はどんな年になるのか。私どもは、「まめなかの」を定期的に皆様にお届け出来るよう頑張つてまいります。

